

新たに登録される「口之津16号」の本県への適応性

[要約]

「口之津16号」は、結実性が良く、1月中下旬に収穫する紅の濃いかんきつとして県内でも栽培可能な品種である。

長崎県果樹試験場

専門

育種

対象

他のかんきつ類

分類

指導

平成2, 3, 4年度長崎県果樹試験場業務報告

[背景・ねらい]

農林水産省果樹試験場育成の新かんきつについて県内適応性を検討した。

1989年4月、11年生「松尾温州」に高接ぎした「口之津16号」について1990年～1992年産果実について形質調査を行った。1989年3月無加温ハウス内の13年生「青島温州」に高接ぎを行った同系統について、1991年及び1992年産果実の形質調査を行った。なお、1993年1月20日に収穫貯蔵し、2月20日に果実形質調査を行った。

新品種の来歴

系統名	交配組み合わせ
	(♀ × ♂)
口之津16号(清見×興津早生)	× ページ

[成果の内容・特徴]

- ①樹勢は中～やや強であるが結実性は良い。
- ②果実重は180～220g程度の扁球の果実で、果皮の紅は濃く滑らかである。
- ③果皮がやや厚い果梗部からのはく皮性はやや劣る。
- ④浮き皮の発生は無い。
- ⑤糖度は12～13度、酸含量は1月下旬から2月に1.0以下になる。
- ⑥無加温ハウス内では果実重が220～240gとなり、減酸が早くなった。

[成果の活用面・留意点]

2月上旬になると陽光面の脱色や果梗部に亀裂が入るので1月下旬までに収穫する。

[具体的データ]

表1 「口之津16号」の果実及び果皮の特性

年産	調査 月日	果形 指数	1 果 平均重 (g)	果		皮					
				果皮色	カラチ ート値	粗	滑	はく皮 の難易	厚さ (mm)	浮皮	
1990	露地	1.21	112	136	黄橙	6.5		滑	中	1.8	無
	露地	2.20	117	164	濃橙	8.8		滑	やや難	1.8	無
1991	露地	12.20	128	185	橙	8.4		滑	中	1.8	無
	露地	1.20	126	177	濃橙	8.8		滑	中	1.7	無
	ハウス	12.20	119	233	濃橙	8.8		滑	中	1.9	無
	ハウス	1.20	121	244	濃橙	8.6		滑	やや難	2.1	無
	貯蔵*	2.20	121	223	濃橙	8.8		滑	やや難	2.0	無
1992	露地	12.21	129	224	濃橙	8.9		滑	中	2.1	無
	露地	1.20	128	211	濃橙	9.4		滑	やや難	2.4	無
	露地	2.22	126	189	橙	8.4		滑	やや難	2.7	無
	ハウス	12.21	128	232	濃橙	9.1		滑	やや中	2.3	無
	ハウス	1.20	127	256	赤橙	9.5		滑	中	2.7	無
	ハウス	2.22	129	214	濃橙	9.3		滑	やや難	2.5	無

* 無加温ハウス栽培の果実を1月20日収穫

表2 「口之津16号」の果肉の特性及び品質

年産	調査 月日	果 肉		さじょう			果 汁			
		果肉 歩合 (%)	じょうのう 膜の厚さ	色	硬さ	含核数	糖度	酸含量	糖酸比	
(g/100ml)										
1990	露地	1.21	84.4	中	黄橙	軟	0.3	14.3	1.35	10.6
	露地	2.20	81.2	中	橙	中	4.7	15.4	0.97	15.9
1991	露地	12.20	84.4	薄	黄橙	中	5.8	11.8	1.46	8.1
	露地	1.20	84.1	薄	黄橙	軟	4.6	12.5	1.41	8.9
	ハウス	12.20	81.0	薄	黄橙	軟	6.4	12.1	1.23	9.8
	ハウス	1.20	81.9	薄	黄橙	軟	5.6	12.3	1.14	10.8
	貯蔵*	2.20	83.0	薄	黄橙	軟	7.2	13.1	1.00	13.1
1992	露地	12.21	81.5	薄	黄橙	軟	11.0	10.4	1.31	7.9
	露地	1.20	78.0	中	橙	軟	12.6	12.3	1.05	11.7
	露地	2.22	76.0	薄	橙	軟	10.4	12.4	1.08	11.5
	ハウス	12.21	81.2	中	黄	中	16.8	11.2	1.23	9.1
	ハウス	1.20	79.1	薄	橙	軟	17.0	12.1	1.00	12.1
	ハウス	2.22	79.7	中	橙	軟	15.4	13.4	1.01	13.3

* 無加温ハウス栽培の果実を1月20日収穫

[その他]

研究課題名：中晩生カンキツの特性調査並びに栽培試験

予算区分：県単

研究期間：平成4年（平成1～5年）

研究担当者：松永茂治

既発表論文等：平成2，3，4年度長崎県果樹試験場業務報告

残された問題点：果梗部に亀裂が発生することがあるので、その対策が必要である。